

【抄 録】

『3D プリンター活用によるプロセスイノベーションの今 ～アナログとデジタルの融合による革新的作業効率の変化について～』

有限会社 小澤デンタルラボラトリー **小澤 謙太**
(長野県歯科技工士会)

急速な少子高齢化の中、世界に類を見ない超高齢化時代へ足を踏み入れた昨今、我々歯科技工業界でも様々な問題が浮き彫りになってきた。募集定員に満たずに軒並み閉鎖される歯科技工専門学校が増え、卒業生が減っている。それに加えて、現職歯科技工士の高齢化や、離職率の高さなどが挙げられる。そんな中 2014 年に CAD/CAM 冠が保険収載されて 9 年が過ぎ、今や CAD/CAM 冠や CAD/CAM インレーは歯冠修復にとって当たり前の補綴物になっているが、義歯はどうであろう。今回は、義歯製作工程がデジタル化によってどのように変化したのかを、弊社の取り組みと共に現状を報告しようと思う。

弊社では 3D プリンターを活用して 4 年が経った。デンチャー部門はデジタル化によって 1 日の仕事の流れが劇的に変化した。毎日遅くまで仕事に追われていく日々を従業員と共に考え、働き方改革に立ち向かうべく、なんとか生き残る方法を模索してきた。その結果が、作業時間の短縮や、品質の安定化、そして従業員の意識改革に繋がっている。デジタル化によって新しい可能性が見えてきたこれからの歯科技工業界をより魅力的にするため、共に横で繋がり協力してこの時代を乗り越えていきたいと考えている。

【抄 録】

『CAD/CAM システムと 3D プリンターのワークフローについて』

株式会社 松風 **黒見 正太**
(愛知県歯科技工士会)

近年、歯科業界においてもデジタル化という大きな潮流を迎え、歯科技工所様は CAD/CAM システムに加え 3D プリンターも増え、デジタル機器の普及と種類の選択に苦悩されていると考えております。

歯科医院においてもデジタル機器の IOS (Intra Oral Scanner) の導入が進みつつあり、歯科医院、歯科技工所との連携が実現し大きく流通の方向も変わってまいりました。印象採得に用いられる IOS は、付随するソフトウェアも充実した機能を満たしており、患者とのコミュニケーションや診断に活用されております。今後不可欠な装備として普及するものと注目されるアイテムの筆頭であります。

今回は IOS と CAD/CAM システムに加え 3D プリンターの特徴、その連携を活かしたシステムを紹介したいと思います。